

第102回 卒業式を挙

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
行兼人 中原 泉
編集人 日 末 日
発行日 偶数月末日
発行部 1部10円
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500



大学のシンボルマーク

両学部220名が巣立つ 卒業証書番号No.二〇三〇二号に

日本歯科大学第一〇二回卒業式(学位記授与式)は、三月中旬両学部において挙行し、二二〇名の学士(歯学)を送り出した。あわせて日本歯科大学大学院第五十回修了式が催され、三十三名に博士(歯学)の学位記が授与された。また、東京短期大学と新潟短期大学の卒業式も挙行された。

第50回大学院修了式を併催

生命歯学部 月十三日に生命歯学部富士見ホールにおいて、大学院第五十回修了式を併催して挙行された。

☆平成生まれの卒業生☆
生命歯学部の部は、三



卒業生に告辞を述べる中原学長 (3月13日・東京)



点呼に応え起立する卒業生たち (3月15日・新潟)

表して、中原学長より、栄えある卒業の証として学士(歯学)の学位記を授与された。ついでに学術優秀賞十三名、皆勤賞十二名、精勤賞十九名、学術奨励賞十名、臨床実習優秀賞三名の受賞者に対して賞状等が授与された。

ついでに大学院生命歯学研究科委員の中原貴教授より、大学院生命歯学研究科博士課程修了生十六名の氏名が呼びあげられ、修了生一人ひとりに、研究の成果を証する博士(歯学)の学位記が授与された。

ついでに中原学長と佐藤田鶴子大学院生命歯学研究科長が、告辞(別掲)を述べた。

ついでに在学学生を代表して第五学年の川崎正宗君が先輩を送る送辞を述べた。

村上一枝先生 “地球未来賞大賞”

毎日新聞 2013年(平成25年)3月6日(水) 第12版 企画特集 22



広がる人と緑の輪

NPO法人 カラ=西アフリカ農村自立協力会 (東京葛西蔵野市)



「地球未来賞」は、毎日新聞社が創刊一四〇年記念事業として二〇一一年に創設した。地球規模の課題である食料や水、環境の問題解決に取り組む個人や団体を顕彰している。今年度はNPO法人「カラ=西アフリカ農村自立協力会」(代表理事・村上一枝)などが受賞し、大阪市内で表彰式と記念講演会が行われた。

同NPO法人は、本学五十四回卒の村上一枝先生が一九九二年に設立し、砂漠化と疾病、貧困に苦しむ西アフリカ・マリイの農村で、地域住民の自立を支援するための活動を続けている。毎日新聞では三月六日付け紙面で、今回の未来賞受賞を特集し、村上一枝先生の現地での活動を紹介した。

べ、卒業生を代表して石川宏樹君、修了生を代表してNikolay Ishkhiyev(ニコライ イシユキティエフ)君が答辞を述べた。

終わりに祝電が披露され、全員で校歌を斉唱した。

新潟生命歯学部 三月十五日に新潟生命歯学部講堂において大学院第五十回修了式を併催して挙行された。

定刻午前十一時、司会として第五学年の中田文矢君が先輩を送る送辞を述べ、卒業生を代表して大竹由佳子さんが答辞を述べた。

おわりに祝電が披露され、全員で校歌を斉唱した。

東京短期大学 東京短期大学の卒業式は、印出光宏短大事務長の司会で、三月十二日午前十時より、生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。

まず第四十回歯科衛生学科卒業生七十四名と、

研究科博士課程修了生十七名の氏名が呼びあげられ、修了生一人ひとりに、研究の成果を証する博士(歯学)の学位記が授与された。

ついでに中原学長と宮川研究科長が、告辞(別掲)を述べた。

ついでに在学学生を代表して第五学年の中田文矢君が先輩を送る送辞を述べ、卒業生を代表して大竹由佳子さん、大学院修了生を代表して中島優君が答辞を述べた。

おわりに祝電が披露され、全員で校歌を斉唱した。

東京短期大学 東京短期大学の卒業式は、印出光宏短大事務長の司会で、三月十二日午前十時より、生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。

まず第四十回歯科衛生学科卒業生七十四名と、

研究科博士課程修了生十七名の氏名が呼びあげられ、修了生一人ひとりに、研究の成果を証する博士(歯学)の学位記が授与された。

ついでに中原学長と宮川研究科長が、告辞(別掲)を述べた。

ついでに在学学生を代表して第五学年の中田文矢君が先輩を送る送辞を述べ、卒業生を代表して大竹由佳子さん、大学院修了生を代表して中島優君が答辞を述べた。

おわりに祝電が披露され、全員で校歌を斉唱した。

東京短期大学 東京短期大学の卒業式は、印出光宏短大事務長の司会で、三月十二日午前十時より、生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。

まず第四十回歯科衛生学科卒業生七十四名と、

住友雅人生命歯学部長と羽村章附属病院院長が祝辞を述べた。

新潟短期大学 新潟短期大学の卒業式は、須貝将紀短大事務部長の司会で、三月十四日午前十一時より、新潟生命歯学部講堂で挙行された。

まず第二十八回歯科衛生学科卒業生四十九名に、又賀泉学長から短期大学の学位記と、専攻科修了生二名に修了証書が授与され、独立行政法人大学評価・学位授与機構より、学士(口腔保健学)の学位記が授与されたことが報告された。

ついでに日本歯科衛生士会からの表彰状が、新潟県歯科衛生士会の三富純子会長(新潟病院歯科衛生士長)より手渡された。

ここで又賀学長が告辞(別掲)を述べた。

中原 泉 学長卒業告辞

私の後輩で、辞典の「広辞苑」の初版が出た昭和三十年(一九五五)に生まれた先生がいる。還暦近くになった彼は、初版で「初老」という言葉を引き出すと、

①老境に入りかけた年頃
②四十歳の異称であった。四十歳は、むかし武士が家督を譲って隠居した年だ。今の時代の初老とは何歳ぐらいかを指すのだろうか、と先生の疑問を呈していた。

そこで私は、本棚にある平成十年(一九九八)に出版された広辞苑第五版を引いてみた。初版と全く同じで、「初老は四十歳の異称」と解説してあった。男性の平均寿命八十八歳という現代なので、私は広辞苑のズサンさに呆れた。

DVD-ROM版の電子辞書には平成十九年(二〇〇七)に出された広辞苑第六版の最新版が搭載されているが、初老の解説は変わらなかった。念のため、手元の「現代新国語辞典」の小型版を引くと、初老は「中年から老年になる年ごろ。もと四十歳の別称。現在では六十歳前後を指す」とあった。まことに時代の変化を反映した明快な解説で、この学研の辞典は、広辞苑最新版より十年も早い平成十二年(二〇〇〇)に改訂されている。天下の広辞苑のお

粗末もさることながら、半世紀足らずで、人間のジェネレーションを表わす概念や定義が、二十歳も若返ったことに驚いた。

私は、昭和四十年(一九六五)に本学を卒業した。当時は歯科大学・歯学部は九校に過ぎず、歯科医師総数は三万足らずだった。まさにムシ歯が洪水のようにあふれて



中原泉学長「…常にアンテナを高く立てて、変化に的確に対応することが必要不可欠だ」

よれば、五十五パーセントが歯口腔に異常があると答えている。そのうち治療中の人は、十六パーセントにとどまっていた。つまり、治療を要する人の三十九パーセントは歯科医院にきていない。定期的に来院する人と全く来院しない人に二極化している。来院する人の歯・口腔はキレイで、もう治すところはない。

だから、患者さんは減ったと感ずるだろう。けれども、来院しない患者がいる、と言いたい。この潜在患者を掘りおこす努力をすべきだと、私は声高に訴えている。ただし、潜在患者四割のうち、歯科医院に連れてこれないという人、来たいけれど来られないという人の二種類がある。私が述べた潜在患者は前者の来られるの

力すべく、この潜在患者を掘りおこす努力をすべきだと、私は声高に訴えている。ただし、潜在患者四割のうち、歯科医院に連れてこれないという人、来たいけれど来られないという人の二種類がある。私が述べた潜在患者は前者の来られるの

力すべく、この潜在患者を掘りおこす努力をすべきだと、私は声高に訴えている。ただし、潜在患者四割のうち、歯科医院に連れてこれないという人、来たいけれど来られないという人の二種類がある。私が述べた潜在患者は前者の来られるの

力すべく、この潜在患者を掘りおこす努力をすべきだと、私は声高に訴えている。ただし、潜在患者四割のうち、歯科医院に連れてこれないという人、来たいけれど来られないという人の二種類がある。私が述べた潜在患者は前者の来られるの

力すべく、この潜在患者を掘りおこす努力をすべきだと、私は声高に訴えている。ただし、潜在患者四割のうち、歯科医院に連れてこれないという人、来たいけれど来られないという人の二種類がある。私が述べた潜在患者は前者の来られるの

力すべく、この潜在患者を掘りおこす努力をすべきだと、私は声高に訴えている。ただし、潜在患者四割のうち、歯科医院に連れてこれないという人、来たいけれど来られないという人の二種類がある。私が述べた潜在患者は前者の来られるの

力すべく、この潜在患者を掘りおこす努力をすべきだと、私は声高に訴えている。ただし、潜在患者四割のうち、歯科医院に連れてこれないという人、来たいけれど来られないという人の二種類がある。私が述べた潜在患者は前者の来られるの



卒業生代表答辞(上・新潟, 下・東京)



必要性が再認識されてきた。今では口腔ケアは、摂食・嚥下・誤嚥性肺炎・ガン・大規模災害救護・胃ろう・周術期等、さまざまな疾患や治療に関わる共通語となった。

先月、文芸春秋社の文春新書から『歯は磨くだけでいいのか』という本が出た。著者は医療ジャーナリストだが、本の帯には「口の中はキケンがいっぱい」とあった。見出しには、「歯がな

い人はボケやすい」「歯を磨かない人はほどガンになりやすい」「歯周病は血管にダメージを与える」「歯周病は妊婦に早産しやすい」「歯磨きでインフルエンザが防げる」と注意書きが散らばっている。在宅の患者さんを多職種で連携して支えていくことが求められている。

大学院研究科長 告辞

生命歯学研究科長 佐藤田鶴子

今年度大学院を修了されたみなさんの研究は、再生医学、抗加齢医学、歯周治療学、歯や歯列の形態学的分析、ストレスの自律神経反応などの身体的変化をみる研究、歯科麻酔薬の効果判定、歯科用材料の分析、など歯科医学の広範囲にわたる。それぞれに貴重なもので、将来必ずや臨床の場にフィードバックされていくと確信している。

一方でみなさんが、無から仕上げた研究は、歯科医学や歯科臨床のなかでは大海の一滴に過ぎない大きさであったのかもしれない。今年日本列島の山間

地には珍しいほどの大量の積雪があった。しかしこの深い雪はあと一月も経つと春の訪れとともに消え、やがてうす緑の柔らかな若葉のつく木々の枝先から、一滴つとポトリポトリと地上に落ちて地中にしみ込み、そして再び地表に湧き出し、それらが集まって小さな流れとなる。

この小さな溪流はかなりの速さで小さな岩にぶつかり、大きな岩石を避けながら流れくたたり、いくつもの溪流が集まってやがて川となっていく。

大学院四年間の研鑽の成果として生まれた水滴は、それぞれの歯学の指導者によって集められ、淀みながたつていく。

この四年間でみなさんは、飛躍的に成長し大きな成果をあげられた。指導教授をはじめとして周囲の方々の指導や教えが、協力等がなかったら、到底ここまで到達できなかったはずだ。築いた人間関係を宝とし、大学院で苦学の末に得たことを今後の人生の糧としていただきたい。(3月15日)

大学院研究科長 宮川行男

新潟生命歯学研究科長 博士号を授与された学位論文は、一年以内に公表する義務があるが、以前は専門学会誌に受理されなくても、日本歯科大学歯学会発行の『歯学』には掲載できるという逃げ道があった。

その『歯学』は、英文誌Odonatologiaに衣替えし、現在はインパクトファクターも付与されている一流の国際誌となっている。Odonatologiaの投稿論文の採択率は二十パーセント台で、掲載されるのが困難な、とても質の高い雑誌となった。審査する側としても、学位論文は最低でも専門学会誌に受理されるレベルでなければ、合格させられない状況である。必然的に論文審査の水準も高くなり、合格した学位論文も審査の過程でさらに磨かれたよいものとなった。

努力の結晶である学位論文は、いずれも質の高い、今後の歯科医学・医療の発展に必ず貢献するといえるものだった。六割の論文が一流の国際誌への掲載を予定していた、うち四編は掲載が決定しており、他の多くも実際に掲載されるだろうと確信している。

全国の歯科大学・歯学部の中で唯一本学のみが一流の国際誌を擁し、そのレベルの高い環境が結果的に大学院生の研究成果となってあらわれているということだ。

大学院修了後は実際の研究活動からは離れる方も多と思う。その場合も大学院生時代に培った知識や技術、さらにはリサーチマインドは専門家である歯科医師にとって非常に大切であり、有用なものであることは言うまでもない。

東京短大 告辞

東京短期大学
学長 小口春久

諸君の門出にあたり一言申し上げたい。東日本大震災からすでに二年が経過した。みなさんのなかには大震災のあと余震におのきながら、本学で不安な一夜をすごした方も少なくないだろう。当時、報道された宮澤章二の詩、「行為の意味」を紹介したい。宮澤章二さんは詩人であり、作詞家である。クリスマスソングのジングルベルの訳者としても有名だ。

「あなたの心はどんなかたちですか。と人に聞かれても答えようがない、自分にも他人にも心は見えないけれども、本当に見えないのであろうか、たしかに心は見えないけれども心づかいに見えるのだ、それは積極的な人に対する行為だから、同じように胸の中の思いは見えない、けれど思いやりは誰にでも見える、それも積極的な行為なのだ、温かい心が温かい行為になり、やさしい思いがやさしい行為になる、とき、心も思いも初めて美しく生きる、それは人と人が生きることだ」

宮澤さんは、「ころ」はだれにも見えなければ、「ころづか」は見えないけれど、「思い」は見えないけれど、「思いやり」はだれにも見え、と言っている。医療現場に通ずる含蓄のある詩だと思う。

「Be kind, be strong. Be happy and be you」親切であれ、強くあいなりのある言葉は短く、簡単なものであってもその反響は実に無限であると言っている。美しい心からは美しい言葉が、やさしい心からはやさしい言葉が語られる。医療人の仲間入りをされるみなさん、美しい心とやさしい心を忘れずに、医療や予防活動を、行政や教育活動を行っていただきたい。

「Be kind, be strong. Be happy and be you」親切であれ、強くあいなりのある言葉は短く、簡単なものであってもその反響は実に無限であると言っている。美しい心からは美しい言葉が、やさしい心からはやさしい言葉が語られる。医療人の仲間入りをされるみなさん、美しい心とやさしい心を忘れずに、医療や予防活動を、行政や教育活動を行っていただきたい。(3月12日)



クラス主任による卒業生点呼(上・東京短大, 下・新潟短大)



位は歯科衛生士だった。歯科衛生士を突破口として、歯科界がこれから必要とされていくのだから、本日卒業された方たちには、これから開けた世界がある。そして生涯研修、生涯学習の職種であり、日々ますます勉強していくことが必要になる。日本歯科医学会には四十二の分科会があり、歯科衛生士、歯科技工士の方々が入会できる学会もある。そういう学会に入会して精進していただきたい。

来賓祝辞
生命歯学部 住友雅人
「週刊東洋経済」という週刊誌で、「昨年の夏、一十年後に食える仕事、食えない仕事」という特集を組んだ。ランキングを見てみると、過去十五年間の伸び率から、今後どうなるかを第一生命の主任研究者が発表している。十五位に医師、その上に看護師があり、第一位は歯科衛生士だった。



医療人としての研鑽を誓う東京短大卒業生

新潟短大 告辞

新潟短期大学
学長 又賀 泉

家試験に落ちていないので、本日卒業の四十九人の方は確実に合格されると信じている。歯科医師と同じように歯科衛生士、歯科技工士は国家試験を受験し合格してその資格を得る。国家資格とは、国が認め



歯科衛生士の未来を語る又賀新潟短大学長

た職業であるということだ。みなさんは歯科衛生士の資格を取得することになるが、国が認めた資格というのは非常に大きい。昨年の十月一日、私は新潟短大の学長に就任し、昨秋の登院式の際に、歯科衛生士の社会的地位はどんどん向上していると述べた。現行の歯科衛生士法第二条「予防処置の実施」は、「歯科医師の直接の指導の下に」との文言がある。しかし現在厚生労働省においてその条文の見直しを検討され、「直接」という文言が削除され、「歯科医師と緊密な連携を確保」した上で、歯石除去などの予防処置を実施する、というように改正される動きがある。今後、予防処置の業務に

また診療補助も一番大きな仕事である。そして在宅往診ケアあるいは口腔ケアは、医科側が歯科医療従事者に求めていることだ。全身疾患の患者さんの口腔ケアについても、これから勤務される歯科医師の先生と一緒に頑張ってもらいたい。歯科衛生士の地位があることは、同時に医療職としての責任を問われるので、勉強を続けてほしい。卒業は一つの区切りではない。歯科衛生士の資格を持つことになる。二十七日以降は、自分でこうだと思ったことを信じて、勇気をもって自分の道を進んでいただきたい。(3月14日)

東京 帰宅困難者対応訓練



警視庁マスコット「ピーポくん」と東京消防庁マスコット「キュータ君」と一緒に記念撮影

機関の寸断により五十万人が帰宅困難になると予想されている。また、大規模災害が発生した際には、迅速な公的救助は望まず、帰宅困難者が救出や救助活動の重要な担い手となることが期待されている。今回の防災訓練は、千代田区と富士見・飯田橋駅周辺地区帰宅困難者対策地域協会の主催によるもので、JR飯田橋駅近くの東京区政会館などを会場に実施された。午前十時から麹町消防署の指導により負傷者の救助、搬送、救護訓練が行われ、学生ボランティアによる帰宅困難者受入ア



テレビ局の取材をうける本学ボランティア

平成二十四年度卒業生

大学院

第50回修了生

大学院生命歯学研究科修了生十六名、新潟生命歯学研究科修了生十七名は次の通り。

(生命歯学研究科)

- 衛生学 補綴学II 小児歯科学 補綴学II 口腔外科学 口腔外科学 小児歯科学 保存学 麻酔学 麻酔学 麻酔学 矯正学 歯周病学 歯周機能治療学 歯周機能治療学 SUPHASRROI WIRROI 咬合形態機能矯正学 CHINYIPAS NETRORN 咬合形態機能矯正学 機能性咬合治療学

機能性咬合治療学 西川正幸

機能性咬合治療学 内田喜昭

機能性咬合治療学 瀬戸宗嗣

顎口腔全身関連治療学 川上未有希

顎口腔全身関連治療学 佐久間 要

顎口腔全身関連治療学 赤泊圭太

硬組織機能治療学 松田浩二郎

硬組織機能治療学 山田理絵

歯周機能治療学 山下亜希

大 学

第102回卒業生

- 日本歯科大学第一〇二回卒業生(新潟生命歯学部)九十名は次の通り。阿部 遼 天笠翔平 五十嵐久郎 池 嘉子 後田和子 内沼茂樹 大竹由佳子 岡江啓太 岡峯愛海 小口修矢 片山愛奈 金山正太 金子陽祐 加羽澤紗花 鎌田麻由子 菊地由利佳 金 龍門 串田茉莉奈 熊谷聡子 栗林理夢 黒瀬隆文 高坂典子 小玉裕樹 小林大介 後藤新平 酒井彩花 澤田雅貴 篠原隆介 白瀬美香 須藤久実 高田真吾 田中佑来 寺嶋賢一 名薺武輝 新島綾子 根津 新 萩原 泉 古川丈博

生命歯学部長の最終講義



記念講義に聞き入る参加者たち、終了後に中原学長から記念品を手渡される住友教授

本学生命歯学部長の住友雅人教授と、新潟生命歯学部長の小倉英夫教授は、選定年により三月末日をもって退職した。両教授の最終記念講義が三月下旬に東京と新潟で行われた。住友生命歯学部長の最終記念講義「玄人はだしと素人ブーツ」は三月二十五日午後五時半より、九段ホールで行われた。住友教授は、昭和四十四年本学卒業第五十八回卒、大学院歯学研究科修了。歯科麻酔学講座を主宰し、平成二十一年より生命歯学部長を務めた。小倉新潟生命歯学部長の最終記念講義「My lecture and presentation in English」は、三月二十七日午後五時より、アイヴィホールで行われた。小倉教授は、昭和四十三年本学卒業(第五十七回卒)、大学院歯学研究科修了。歯科理工学講座を主宰し、平成二十年より新潟生命歯学部長を務めた。両学部長の最終記念講義には教職員、大学院生、学生、同門会員等、多数の関係者が聴講した。



学会発表の留意事項を英語で講義する小倉教授、記念品を手に関係者一同で記念撮影

- 一三〇名は次の通り。古館絵麻 増田 藍 宮尾知佐 山口真未 山田拓也 吉田哲也 岡田英恵 多田卓矢 橋本綾乃 阿部大樹 齋藤芳秀 鳥海貴裕 湊 健太郎 山崎 彩 千葉太郎 大邊強史 北村 厚 高橋和聖 羽尾直仁 宮田幸昇 山崎 亮 本間英明 松村 憲 宮田佳代子 山下紗智子 吉澤れりあ 渡會侑子 小原 直 永井 涉 廣岡沙由梨 伊藤一成 杉 友希 丹羽慶嗣 宮前翔太郎 下地竜也 溝越泰雄 大村 収 鈴木絢子 西本朋代 保科岳史 八木祐丞 安部祐策 久我憲央 羽田朝己 原澤法子 三木雄斗 新庄洋崇 石井淳也 金井拓実 井出美穂 伊豆麻未 荒木智美 石井義昌 石川宏樹 指輪 茜 宮内照美 高橋彬文 相田治希 関谷美貴 島崎美奈子 村田卓也 森田真央香 安田佑理 山本早織 好岡夢貴 渡邊慧子 荒川 彩 柴田顕光 藤井美弥子 小松佐保 塚本恵太 愛川理浩 井本泰樹 大歳泰佑 岡 由佳子 川本沙也華 小山実香 小室 敦 是恒秀一 近藤 学 阪 奈津子 佐々木秀人 佐藤 遼 丸谷優磨 三好健太郎 三森春香 間宮 徹 松野 翠 本間憲二 星 彩子 松田英恵 松本康佑 丸谷優磨 三好健太郎 三森春香 間宮 徹 松野 翠 本間憲二

学術奨励生(九十八名)は、次の通り。(生命歯学部) 平成二十四年度日本歯科大学学術奨励生(九十八名)は、次の通り。(生命歯学部) 一年 中山竣太郎 阿久津汐里 井上真帆 大橋未来 黒山かれん 田中利沙 中澤美和 望月 茜 横田いづみ 横山美世子 二年 西牧麻由里 赤羽由美子 岩田良子 神山 玲 久保田麻莉 後藤達哉 小島廉史 平野萌香 松岡 毅 三浦大貴 三年 小本多聡志 小本曾令美 菅原規江 竹ノ下奈美 藤田 遥 山井綾子 宮下大志 松尾恭子 四年 花谷佳菜子 大山 豪 小川紗衣香 興地麗子 落合柚香 恩田裕香 小森太郎 三代紗季 森竹宣之 内田順平 加藤景子 上井達絵 五年 渡邊美穂 秋谷勇介 植松俊樹 井出美穂 軍司さおり 宇留野央克 小坂真央 小松勇輝 是恒秀一 富永 央 中島優子 肥田智香子 平井菜緒 福山 完 藤田千紘 藤田美也子 弥郡ありさ 藤田美也子 小坂真央 平賀智豊 関谷美貴

昭和五年刊行の『歯科医籍録』をみると、昭和三年九月までの登録者一五三〇八名、歯科医籍第一号は明治十七年十月登録の青山千代次、以降九号に高知の織田信福、二十八号に長崎の光安常重、二十二年五月登録第八十六号に本学創立者中原市五郎の名がある。

“医療連携”に役立つ 有病者歯科マニュアル 編集：白川正順(日本歯科大学教授・附属病院口腔外科) 石垣佳希(日本歯科大学准教授・附属病院口腔外科) 今井 裕(獨協医科大学歯学部主任教授・口腔外科) 川又 均(獨協医科大学歯学部教授・口腔外科) 基礎疾患やリスクを有する患者の歯科治療の管理と、医療連携の流れの基本がわかりやすくまとめました。 目次 1. 有病者歯科医療と医療連携 2. 基礎疾患およびリスクを有する患者の管理と医療連携 3. 有病者口腔ケアに関わる医療連携 4. 有病者歯科医療における医療連携の実践 付 録/コラム ◆B5判 ◆128頁 ◆2色・カラー ◆定価：本体2,800円+税 医学情報社 〒113-0033 東京都文京区本郷1-4-6 TEL.03-5684-6811 FAX.03-5684-6812